

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘 要 |
|---|--|--|--|--|
| 【都市整備部】 1 公共事業 (土地区画整理、公園) | 5,028,000 〔国庫 1,982,350 負担金 973,825 県債 2,071,000 一財 825〕 | 4,473,000 〔国庫 1,799,000 負担金 878,750 県債 1,794,000 一財 1,250〕 | 4,473,000 〔国庫 1,799,000 負担金 878,750 県債 1,794,000 一財 1,250〕 | 公共事業全体 44億7,300万円(11.0%減) うち真水 35億6,900万円(7.7%減) 1 土地区画整理事業 28億9,300万円(10.0%減) うち真水 27億4,800万円(14.2%減) 客観的評価基準に基づくランク付けにより予算配分 (圏央道関連地区や平成21年度中に補助が完了する地区に重点化) 2 公園事業 15億8,000万円(12.9%減) うち真水 8億2,100万円(23.6%増) 平成22年春に拡張地区を供用開始予定のまつぶし緑の丘公園をはじめ、さきたま古墳公園、権現堂公園、羽生水郷公園などの計画的整備に向けて、東部地域の4公園に重点化 |
| 【審査の考え方】 県民生活に必要な都市基盤整備を事業効果の高い箇所に重点化して実施する必要性を認め、要求額を措置した。 | | | | |

都市整備部

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘要 |
|-----------------------|--------|------------------------------------|------------------------------------|---|
| 新 4 新たな森づくり 推進費 | | 71,000 〔繰入 53,000 一財 18,000〕 | 71,000 〔繰入 53,000 一財 18,000〕 | 「彩の国みどりの基金」を活用し、みどりの少ない都市部の公園に植樹を行い、森を創る。 1 森づくりに向けた植樹事業 7,000万円 埼玉スタジアム2002公園 しらこぼと公園(2次区域) 大宮公園(第三公園) まつぶし緑の丘公園 川越公園 *用途を指定した「都市への植樹」への寄附者には、希望により記念プレートを設置 2 植樹イベント 100万円 都市への植樹宣言・記念式典 |

【審査の考え方】
都市部の身近な緑の保全と創出を推進するため、新たにみどりの少ない都市部の公園に森を創る必要性を認め、要求額を措置した。

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘 要 |
|--------------------------------|--------|---|---|---|
| <p>新</p> <p>5 住宅ローン負担軽減事業費</p> | | <p>405,663</p> <p>(国庫 182,548 一財 223,115)</p> | <p>405,663</p> <p>(国庫 182,548 一財 223,115)</p> | <p>金融機関提携住宅ローン利用者の負担軽減を行い、新規住宅の建設意欲を高め、県内地域産業の活性化を図る。</p> <p>1 住宅ローン負担軽減事業費 4億566万3千円</p> <p>民間提携ローン新規利用者の負担軽減を行い、業種の裾野が広く経済波及効果の高い住宅需要を促進する。 審査事務は金融機関を活用、適正な負担軽減を実施する。</p> <p>・対象住宅 戸建住宅2000戸（分譲住宅を除く。） ※ 子育て世帯住宅、環境に配慮した住宅、親や子との近居・同居を望むファミリー世帯住宅等が対象</p> <p>・支給金額 上限額20万円／年 ※ 融資残高1%相当分を支給する。</p> <p>・支給期間 原則5年間</p> <p>・募集開始 平成21年6月予定</p> <p>・経済波及効果 1,034億円 (平成21年度、計2000戸実施の場合)</p> <p>・税収効果 96億円 (県税・市町村税合計)</p> <p>・雇用誘発効果 6,560人</p> |
| <p>(債務負担行為)</p> | | <p>限度額</p> <p>1,600,000</p> <p>(一財 1,600,000)</p> | <p>承認</p> | <p>平成22年度～平成25年度</p> |

【審査の考え方】
住宅ローンの負担を軽減し、戸建住宅の需要を促進する必要性を認め、要求額を措置した。

都市整備部

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘要 |
|----------|--|--|--|---|
| 6 公園等建設費 | 2,033,070 〔国庫 119,144 諸収 50,000 県債 1,558,000 一財 305,926〕 | 1,751,219 〔国庫 33,993 県債 1,496,000 一財 221,226〕 | 1,751,219 〔国庫 33,993 県債 1,496,000 一財 221,226〕 | 主な事業 上尾運動公園基本計画策定業務 1,000万円 さいたま水上公園（昭和46年7月開設）リニューアルの基本方針策定、整備手法の検討 森づくり関連事業 9,404万4千円 ・新たな森づくり調査等 ・しらこぼと公園2次区域整備 |

【審査の考え方】
老朽化しているさいたま水上公園についての基本計画策定などの必要性を認め、要求額を措置した。

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘要 |
|---|--------|---|---|--|
| <p>新</p> <p>7 公的賃貸住宅 団地再生事業費</p> | | <p>19,302</p> <p>〔国庫 8,504 繰入 10,798〕</p> | <p>19,302</p> <p>〔国庫 8,504 繰入 10,798〕</p> | <p>老朽化した県営住宅に民間活力を導入し、高齢者向け住宅や老人福祉施設等を配置した団地に建替え、地域住民も利用できるサービス機能を付加した住宅として整備する。</p> <p>1 公的賃貸住宅団地再生ビジョンの推進 745万7千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的賃貸住宅団地再生研究会の運営 作業部会による基礎研究調査 構成員：県・UR・団地所在市町村 ・地域サービス機能の導入検討 事業化に向けての調査・作業スキームの策定 県は大宮植竹、入間霞川、熊谷玉井の3団地で実施 作業部会にて経過報告、情報交換 <p>2 県営住宅団地再生モデル事業 1,184万5千円</p> <p>大宮東宮下団地B街区の事業化に向けた計画策定 公募要綱等の作成、有識者による審査、法的検証等 <概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県は事業者に土地を貸与、事業者は介護付き有料老人ホーム、高齢者向け専用賃貸住宅等を建設・運営 ・敷地内には県営住宅も整備、地域サービス機能が付加され、居住者も地域住民も利用可能となる <p><来年度以降の見込み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度 事業者の公募、選定 ・平成23～24年度 工事、オープン予定 |
| <p>【審査の考え方】</p> <p>高齢化社会に対応し、地域住民も利用できるサービス機能を持つ県営住宅を整備するため、民間活力を導入した高齢者福祉施設を整備する必要性を認め、要求額を措置した。</p> | | | | |

都市整備部

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘要 |
|------------------------------|---|---------------------|---------------------|--|
| 8 さいたま新都心 8 街区土地利用 推進費 | 9,464,028 〔繰入 9,460,198 一財 3,830〕 | 5,521 〔一財 5,521〕 | 5,521 〔一財 5,521〕 | さいたま新都心の第8-1A街区に民間活力を導入し、コンベンション、商業、業務機能等を兼ね備えた施設を整備する。 1 「さいたま新都心第8-1A街区三者事業推進協議会」への負担金 552万1千円 ・MNDさいたまとの財産(等価)交換契約締結に向けた協議・調整を主催者及び事業予定者間で実施 ・三者事業推進協議会が実施する第8-1A街区整備推進業務に係る費用を県、市で負担 (事業費1,104万2千円・県1/2、市1/2) ①民間事業者との協議・調整及び交渉支援業務 ②財産交換契約締結協議・調整及び契約書作成業務 ③県市施設の等価交換検証業務 ④施設管理方策の協議・調整業務 <今後のスケジュール> 平成21年12月 県・市:財産交換契約の締結 UR:土地譲渡契約締結・土地引渡し 平成22年 2月 建設工事着手 平成25年 5月 竣工 財産の交換履行 |

【審査の考え方】
さいたま新都心8街区について、民間活力を最大限導入した県施設の整備及び街の賑わいづくりの必要性を認め、要求額を措置した。

都市整備部

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘要 |
|--|--|--|---|---|
| 9 流域下水道事業 特別会計 (債務負担行為) | 53,790,468 〔国庫12,594,900 負担金 25,723,014 使手 9,461 財収 75,629 繰入 7,423,774 繰越 1,361,688 諸収 2 県債 6,602,000〕 | 46,567,122 〔国庫 5,879,250 負担金 24,421,234 使手 8,557 財収 147,735 繰入 7,347,210 繰越 4,385,031 諸収 105 県債 4,378,000〕 限度額 21,305,500 〔国庫14,081,333 負担金 3,612,084 繰入 2,083 県債 3,610,000〕 | 46,567,122 〔国庫 5,879,250 負担金 24,421,234 使手 8,557 財収 147,735 繰入 7,347,210 繰越 4,385,031 諸収 105 県債 4,378,000〕 承認 | 主な事業 流域下水道管理費 267億6,024万3千円 利根川右岸流域の供用開始 7億9,596万8千円 供用開始：平成21年4月 流域市町：本庄市、美里町、神川町、上里町 (1市3町) 公営企業会計の導入 3,743万4千円 平成22年4月から地方公営企業法の全部適用 流域下水道建設事業費 94億1,485万円 管渠、ポンプ場、処理場の建設事業 平成22年度～平成24年度 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【審査の考え方】 利根川右岸流域の供用開始、下水流入量の増加に合わせた施設整備、老朽化した設備の改築更新を計画的に進める必要性を認め、要求額を措置した。</p> </div> |
| 新 10 財団法人埼玉県 下水道公社出えん金 (一般会計) | | 2,500 〔一財 2,500〕 | 2,500 〔一財 2,500〕 | 利根川右岸流域の供用開始に伴い、(財)埼玉県下水道公社に出えんを行う。 |

都市整備部

(単位：千円)

| 事業名 | 前年度予算額 | 要求額 | 審査額 | 摘要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------|--|--|---|--|-----|-----|------|------|-------|-----|-----|------|------|-----|------|------|-----|------|---|------|-------|
| 【県営住宅事業特別会計】 新 11 平成21年度 公営住宅建設費 | | 875,708 〔国庫 368,877 繰入 57,831 県債 449,000〕 | 875,708 〔国庫 368,877 繰入 57,831 県債 449,000〕 | 老朽化した県営住宅の建替事業 ＜総事業費 82億5,812万9千円＞ (3ヵ年継続事業のうち第1年次分) 8億7,570万8千円 ＜整備戸数 536戸＞ <table><thead><tr><th></th><th>建替後</th><th>建替前</th></tr></thead><tbody><tr><td>大宮植竹</td><td>296戸</td><td>(144)</td></tr><tr><td>大宮砂</td><td>90戸</td><td>(48)</td></tr><tr><td>熊谷玉井</td><td>90戸</td><td>(24)</td></tr><tr><td>入間霞川</td><td>60戸</td><td>(30)</td></tr><tr><td>計</td><td>536戸</td><td>(246)</td></tr></tbody></table> ＜純増数 290戸＞ | | 建替後 | 建替前 | 大宮植竹 | 296戸 | (144) | 大宮砂 | 90戸 | (48) | 熊谷玉井 | 90戸 | (24) | 入間霞川 | 60戸 | (30) | 計 | 536戸 | (246) |
| | 建替後 | 建替前 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大宮植竹 | 296戸 | (144) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大宮砂 | 90戸 | (48) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 熊谷玉井 | 90戸 | (24) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入間霞川 | 60戸 | (30) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 536戸 | (246) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 【審査の考え方】 老朽化した県営住宅の建替を行い、住まいの セーフティネットを整備する必要性を認め、要 求額を措置した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

都市整備部